

和顔愛語「和やかな顔と思いやりの言葉」で人に接すること



先日、東京オリンピック 5 位入賞（世界で 5 位ってことですよ）のプロサーファーの大原洋人選手が、キャリア教育の一環で、6 年生と交流をしてくださいました。

9 月 4 日から始まっている「OMAEZAKI PRO」という大会に出場するために静岡にいらしていた合間を縫って勝間田小に来てくださいました。

大会直前で、少しの時間も惜しんで練習をしたいところを、かなり無理をして時間をとってくださいました。

そして、6 年生との交流が始まるとすぐにマネージャーさんが、「返事や反応がすばらしいですね」「話の聞き方がすばらしい!」とニコニコしながら話しかけてくださいました。

そして、いよいよ授業が終わるという頃になったらマネージャーさんが、「休み時間は何分までですか?」言うのです。「なんでかな?」と思っていたら、「大原選手に、子どもたち全員にサインを書いてもらうよ」と言ってくださいました。大原選手もニコニコ笑顔で、子どもたちに「名前は?」と尋ねて、名前入りのサインをしてくれました。

写真は、マネージャーさんのInstagramです。真ん中のコメントに「真剣に聞く姿がとても素敵です」と書いてくださりました。

大原選手は、授業のあと廊下に出た瞬間「楽しかった!ありがとうございます!」とお話してくださいました。こちらがありがたいなのに、大原選手が、「楽しかった!ありがとうございます!」と口にしてしまうほど、6 年生のお話の聞き方がすてきだったということですよ。

マネージャーさんは、大会会場で、会う人、会う人に「今、勝間田小で授業をしてきたけど、聞き方がすばらしくて、すごく楽しかったよ。」と自慢していたそうです。

子どもたちの聴く姿が、周りの人を幸せにしてくれていて、本当にうれしいです。大会は7日、8日まで、御前崎ロングビーチで行われています。私は大原選手の応援に行くつもりです(^^)/

クラスの雰囲気がいいから私も気持ちよく、 楽しい時間を過ごせました

先日、5年生が「こめ香」さんをお招きして、ふるさと学習を行いました。お米を使って、誰にでも（アレルギーのある人も）食べられる創作一品料理をつくるために、アドバイスをいただきました。この授業のあとに、こめ香さんからお手紙をいただきました。

昨日は、楽しく授業に参加させていただき、また、地元の小学生と話す貴重なお時間をいただきましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

このお話をいただいた時には、「どんなふうに関われるか、少し不安な気持ちもありました」でも、5年生の皆さんは、とても礼儀正しく、発表の仕方も考えもしっかりされていて、さらに聴く態度もすばらしく、昨日は感心してしまいました。

クラスの雰囲気がとてもよいので、お話させていただいて、私も気持ちがよく、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

5年生の皆さんが、「みんなが同じものを一緒に食べられるようにしたい。」という気持ちをもつてすごくてきなことだと思います。

勝間田小の皆さんは、思いやりがあって、温かい気持ちになります。

充分なお手伝いができるかわかりませんが、一緒に勉強させていただいたらうれしいです。

一部分を抜粋しました

こめ香さんも、子どもたちの聴き方や学び方から、「気持ちよく」「楽しい」と感じてくださっています。そして、こちらがありがとうございますなのに、こめ香さんから「感謝申し上げます。ありがとうございました」と言ってくれました。

最初は、子どもたちと関わることに不安だったのに、子どもたちとふれあった後は、「一緒に勉強出来たらうれしいです」とも言うてくださいました。

5年生も、5年生の姿から、周りの人を幸せにしてくれました。



Well-Being (ウェルビーイング)という言葉をよく耳にするようになりました。簡単にいうと「幸せ」ってことらしいです。このウェルビーイングで大切なのは、個人のウェルビーイングで終わらせないで、個人のウェルビーイングが周りの人や地域に広がっていくことなんだそうです。

6年生や5年生の姿が、周りの人や地域の方に「幸せ(ウェルビーイング)」を広げているんだなど、つくづく思います。こんなすてきな学校の校長でいられることを本当に幸せだと思います。